
太陽

火水 風地

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

太陽

【Nコード】

N7208B

【作者名】

火水 風地

【あらすじ】

一人、太陽に話しかける少女はひとりぼっちか？

(前書き)

ふと、書いていた

蒸し暑い荒野を愛馬に乗り駆け抜ける。

目に映るものは愛馬が踏みしめ土埃の舞い上がる金色の大地、そこに横たわるようにある朽ちた草木と死してなお居座り続ける動物たち、その悲しき者たちを天へ導こうと光を発し続ける絶対的な太陽。

走って、走って、走っても

いくら走り続けても振りほどくことのできない太陽には神々しささえ感じてしまう。

時には感謝され、時には恨まれる太陽は、感謝され照れることもなければ、恨まれひねくれることもない。

愛馬を止め黄金の地面に立ち、私は遥か頭上の太陽を見上げ叫ぶ。

「お前は どうして延々と輝き続けれるのか？何故その輝きを私たちに恵む？」

答えはいつまで待っても帰ってこなかった。それでも私は待ち続けた、太陽が口を開くその時を…

そのまましばらく時間が経過した。

私は何ら変化を見せない太陽にさらに尊敬の念をもった。

「お前は絶対的な存在だ、しかし私は相対的な存在でしかありえな

い。お前はどちらが優れていると思う？」

私のこの問いには、今まで反応を見せなかった太陽も口を開いた。

「汝よりは我の方が優れているであろう、だが我よりは汝の方が遙かに幸せだろう」

私はその太陽の答えに顔を綻ばせた。

太陽は一人で全ての事を出来てしまう絶対的なものだが、人は一人で全てを出来る絶対的なものではなくお互いに助け合ってようやく太陽になれる存在だ。

助け合えるというのは素晴らしいことではないのか。

(後書き)

なんじゃこりゃとか言う人多そう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7208b/>

太陽

2010年12月14日19時46分発行